



消費税10%増税は中止を！

消費税の78%が大企業の減税に使われた！



不公平な消費税増税ではなく税金は応分の負担に見直しを！

11月15日、日本共産党後援会では、清水沢地区光・憩アパルトで、「消費税廃止 各界連絡会」が提起

産党後援会では、清水沢地区光・憩アパルトで、「消費税廃止 各界連絡会」が提起

11月15日、日本共産党後援会では、清水沢地区光・憩アパルトで、「消費税廃止 各界連絡会」が提起

「消費税が導入されて30年。『社会保障や財政再建のため』と国民を欺き、消費税の78%が大企業の減税に使われてきました。今でさえ、深刻な消費不況が続いています。賃金が減っている、年金が減らされて医療も介護も負担が重すぎる」と大企業優遇の安倍ノミクスで格差と貧困は拡大する一方で、増税するならば、巨額の富を蓄えている大富豪や大企業に、応分の負担を求める税制に見直すべきです。

また、政府は消費税の増税ではなく、軍事費の削減をすべきです。日本が他国から攻撃される心配が本にあるのでし

また、政府は消費税の増税ではなく、軍事費の削減をすべきです。日本が他国から攻撃される心配が本にあるのでし

また、政府は消費税の増税ではなく、軍事費の削減をすべきです。日本が他国から攻撃される心配が本にあるのでし

また、政府は消費税の増税ではなく、軍事費の削減をすべきです。日本が他国から攻撃される心配が本にあるのでし

軍事費削って暮らしにまわせ！

また、政府は消費税の増税ではなく、軍事費の削減をすべきです。日本が他国から攻撃される心配が本にあるのでし

また、政府は消費税の増税ではなく、軍事費の削減をすべきです。日本が他国から攻撃される心配が本にあるのでし

また、政府は消費税の増税ではなく、軍事費の削減をすべきです。日本が他国から攻撃される心配が本にあるのでし

また、政府は消費税の増税ではなく、軍事費の削減をすべきです。日本が他国から攻撃される心配が本にあるのでし

消費税が社会保障に使われてるなら、何でこんなに悪くなってるの?!

	消費税導入以前(1988年度)	現在(2015年度)
消費税率	0%	8%
医療	サラリーマン本人の窓口負担 1割 高齢者の窓口負担(外来) 定額(800円) 国民健康保険料(1人の平均) 56,372円	3割 1割~3割 93,203円(2014年度)
年金	厚生年金の支給開始年齢 60歳 国民年金保険料(月額) 7,700円	65歳 15,590円
その他	介護保険料(65歳以上) なし 障がい者福祉の自己負担 応能負担(9割は無料)	5,514円(全国平均) 定率1割負担
	公立・公営保育所の数 13,657か所(88年10月)	9,525か所

(出典:厚生労働省資料から作成)

おかしいと思いませんか?

ありえん君

建交労夕張支部 第75会定期大会

11月13日、建交労夕張支部の第75回定期大会が組合事務所で開催されました。はじめに、野呂義則執行委員長が挨拶し、「消費税増税など悪政が進む情勢のなかで一層団結して頑張り」と話しました。

来賓で参加した夕張労連筒井議長は、「沖縄県知事選の勝利は全国の仲間をはじめ多くの国民を励ましていく」と語り、建交労の支援活動があったことも含め健闘を讃えました。鈴木夕張市長からのメッセージでは、

「頃々の活動に敬意を示すことなど、これからの活動にたいする励ましの言葉が紹介されました。次に、安部秀一書記長から議案の説明がありました。情勢の特徴として「政権与党は秋の国会に9条改憲案の提出を狙い、対米従



属をいっそう推し進めようとしているが、歴史的な米朝首脳会谈で世界が平和の方向に動いている」と指摘し、さらに「安倍政権は物価上昇、大企業減税、社会保障解体、労働法制改悪、TPP推進原発再稼働、消費税10%と暴走を続けているが、沖縄知事選挙の勝利は安倍政権に対する強烈な痛打となっている」と指摘し、今後の闘いの方針を提起しました。大会は提案された議案を全会一致で承認し、また、役員選出も全員再任となつて新たなスタートをきりました。

くずさんの 夕張歴史散歩(100)

明治維新 17 / 朝鮮干渉 ①

前号で甲申政変について触れました。明治政府の朝鮮に対する姿勢は、初めから侵略的でした。

朝鮮干渉の足あと

遠くは豊臣秀吉の朝鮮出兵にはじまり、明治維新後の一八七三年(明治6年)には、早くも西郷・板垣らを中心としての征韓論が起り、次々と干渉・侵略をつづけ、日清・日露戦争へと突きすすみます。

一八七五年(明治8年)九月、紅華島事件にはじまり、一八八二年(明治14年)七月に壬午事変、そして前出の一八八四年(明治16年)十二月の甲申事件とつづきます。

しまいには、一八九四年(明治27年)五月、東学農民戦争(甲午戦争)に干渉し、日清戦争に突入していきます。

この過程で多くの謀略的策動を見せますが、もつとも非人間的な事件として朝鮮王の閔妃殺虐・焼き捨ては、世界的にも残る非人道行為でした。

明治政府の対外方針

いち早く資本主義生産の発達を遂げたヨーロッパ列強諸国は、その帝国主義的野望を中国、朝鮮、インドそして日本などに向けていました。阿片戦争はその典型でもありました。

幕末の黒船ペリー来航も、その一環でした。これに対して明治維新が上から暴力的に行われ、その結果明治政府が誕生します。

明治政府は、列強の干渉に抵抗しながら、自らも朝鮮・中国(清)への植民地化に舵を切ります。つまり帝国主義侵略者として、列強と肩を並べようとしています。

そのために富国強兵を、国造りの基にしていたのです。



畠山和也「かけある記」
前衆議院議員

畠山和也

介護に笑顔

苫小牧市へ行った際に「娘がお世話になりました」と声をかけられました。教員を務めていたときの教え子のお母さん！名前を聞いてすぐ、はにかみ屋さんだった顔が浮かびました。今は介護職場で働いているとのこと。働きがいをもってがんばっている姿を想像して、とてもうれしく思いました。

なにしろ、国が改悪を続けるため悲鳴があがりっぱなしの介護現場。「介護の日」である十一日には、札幌駅前前で「介護に笑顔を！北海道連絡会」主催の集会とアピールパレードがありました。テレビカメラも入って、明るい雰囲気のパレードは町ゆく人の注目も集めました。

しかし、実態は厳しい。利用者の立場から「半身が動かないのに要介護2。さらに下げられる見込みと言われた」との発言や、職員の立場から「いい介護を頼んでも人手が少なすぎる」との訴えが重く響きました。心にしみたのは「認知症の母は『お母さん』と呼んでもわからないのに、名前と呼ぶと応えてくれる。一人の人間として尊重することの大事さを学んだ」とのスピーチ。どうして国が、一人ひとりを大切にしようという現場に負担を押しつけ続けるのかと腹立たしくなりました。

「消費税増税は社会保障のため」と導入されて間もなく三十年、介護保険が始まって十八年。しかし、社会保障はよくなっていないと誰の目にも明らかです。はにかんだ笑顔の教え子を思い出しながら、くらしに目を向けた政治へ何としてもきりかえます。